

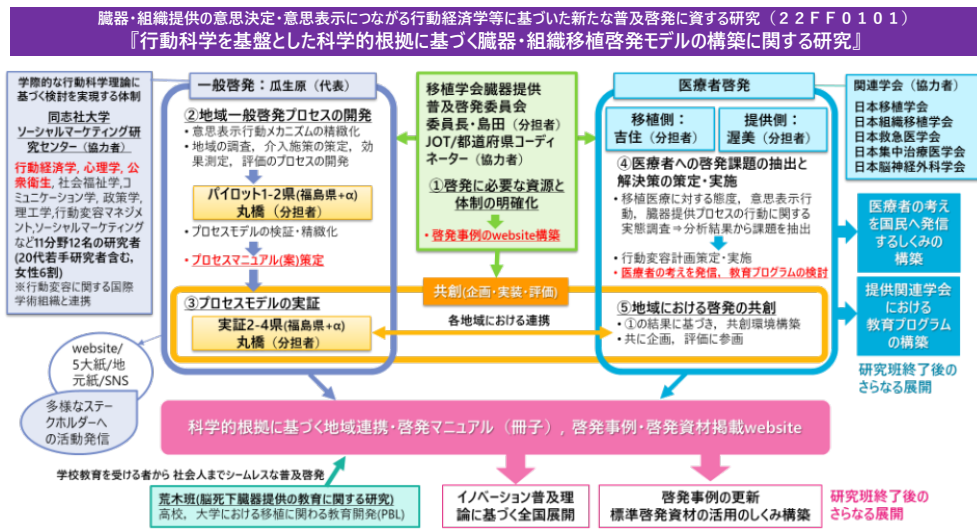
厚生労働科学研究費補助金（移植医療基盤整備研究事業）

臓器・組織提供の意思決定・意思表示につながる
行動経済学等に基づいた新たな普及啓発に資する研究（22FF0101）

『行動科学を基盤とした科学的根拠に基づく
臓器・組織移植啓発モデルの構築に関する研究』

瓜生原分担班統括報告書

瓜生原葉子



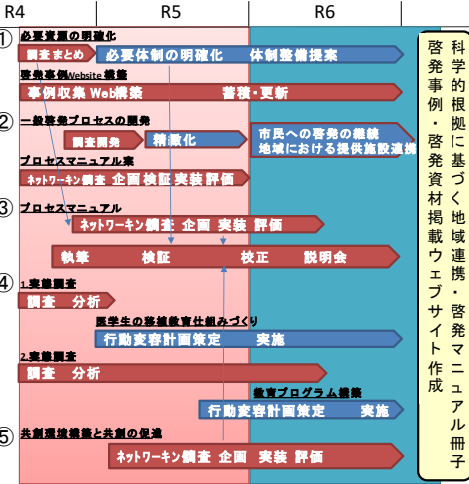
移植医療基盤整備研究事業
◆研究代表者：瓜生原 葉子 ◆研究課題名：行動科学を基盤とした科学的根拠に基づく臓器・組織移植啓発モデルの構築に関する研究（22FF0101）

これまでの取り組みと課題など

研究目的、概要
臓器・組織提供数の増加を目指し、その解決のための「行動変容」促進する。
・一般：臓器提供についての家族等との対話、意思決定・意思表示への行動変容
・医療者：提供プロセスにおける望ましい行動
学際的な行動科学理論に基づく「効果測定・評価」までのプロセスを開発し、それを地域で多様なステークホルダーとともに展開するモデルを構築する。

研究計画・方法
①地域の啓発資源、啓発事例の網羅的な把握
②地域啓発プロセスの開発とそのパイロット検証・精緻化
③プロセスモデルの複数地域における実証
④医療者への啓発課題の抽出と施策策定
⑤地域における啓発の共創 環境整備と実装への参画

進捗状況
①各地域で活用しやすい「啓発事例」を選定・共有
②意思決定・表示行動メカニズムの明示、「科学的根拠に基づく地域連携・啓発マニュアル」の作成、臓器取引に移植チームに関する動画の日本語版の作成、YouTube公開、意思決定・食器実習シールの開発・実証など
③県の現状把握のための一般調査を実施、分析中、5項目医療者へのアンケート調査も予定
④1 医学学生の教育コンテンツ作成し、文科省へ共有、移植病院内で活用、医療系学生への講義での活用
④-2 インタビュー調査の逐語録の分析による「行動科学モデル」を構築。
⑤行動科学に基づく啓発総合websiteを構築



- 【班会議実施】
- 2022年 5月31日
 - 2022年 8月16日
 - 2022年11月28日
 - 2023年 5月10日
 - 2023年10月30日
 - 2024年 4月26日
 - 2024年11月14日
 - 2025年 5月 7日

2022年度から2024年度の総括

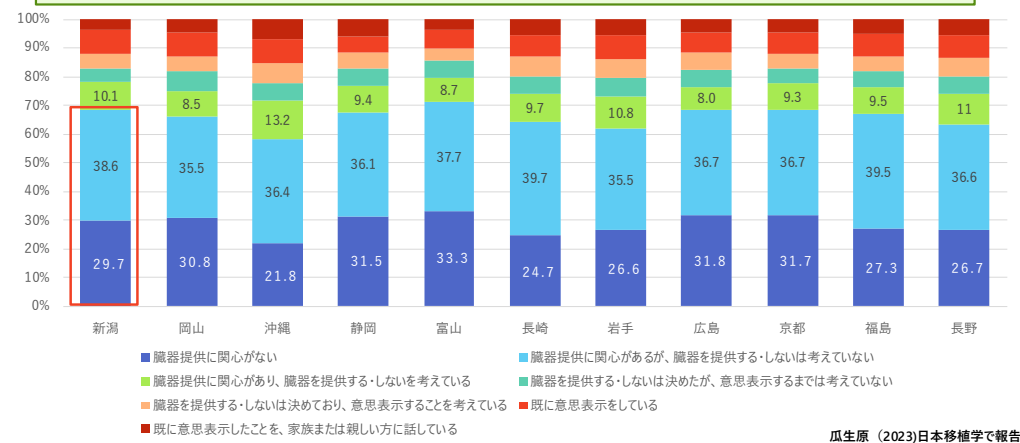
5 GD 4 NBHC @ DS
3 DRD@BG \$ DMSO
%NRG@MELDRBK

	【2022年度】	【2023年度】	【2024年度】
市民	<p>16,000件の一般の調査・分析 ⇒臓器提供について考えている人は約3割、「考え始める」ことの促進が重要</p>	<p>16,000件の一般のデータ再解析 ・意思決定・意思表示の有無に影響を及ぼす因子、促進因子の頑健性が高いことを確認 ・重要な意思決定の後回し「考えようとしなが行動阻害の本質。 「臓器提供迷ってますカード」を開発・実証 大学生334名を対象とした調査において、「迷ってもいい」カードは既存のカードより統計学的有意に記入への抵抗感が減り、家族と話すきっかけになり、意思表示することを忘れないことが示された。</p>	<p>「臓器提供迷ってますカード」の展開 ・学校教育・病院内での啓発、一般市民の啓発に使用・検証 ・以下のツールとセットでの有用性が示唆され、メディア(読売新聞)に掲載された。 ・この取組みは、ACC賞(PR部門)を受賞。</p>
教育者	<p>全中学校(10,189校)の実態調査 1,263校のうち、55.9%が授業実施。実施者の意思表示率は高い。今後望まれるものとして、模擬講義、学習指導案の追加が挙げられた。</p>	<p>全中学校(10,145校)の実態調査 1,187校のうち、66.4%が授業実施。実施者の満足度は割以上。教材の役立ち度は約90%、活用意向は85.5% 授業後の家庭における親子の対話は1.1%。「対話の促進」が重要。</p>	<p>中学校道徳授業の深化 授業中に対話促進ツールを組み入れた授業の実施・検証。家庭での対話。</p>
施策立案者	<p>自治体や都道府県Co.に負担をかけない地域の啓発施策支援のしくみとしてマニュアル作成</p>	<p>マニュアルの検証 簡便に企画立案できる、事例がいくつかのついでそのまま適用できるサイトが理想であることが判明。</p>	<p>総合ポータルサイトの構築 市民、施策立案者、教育者別の行動科学を基盤としたサイト。引き続き内容の検証を継続する予定。</p>
		<p>Allによるテラーメードの啓発開発開始 再解析得た因子を基にannotationを行い、その人の志向にあった情報が届くしくみ構築⇒意思決定における対話の重要性から方針転換</p>	<p>対話意思決定促進ツールの開発 ・中学教育、一般における検証を実施。 ・メディア(読売新聞)に掲載された。 ・中学校道徳教材「ココロノート」に2025年度より掲載された。</p>
		<p>★海外渡航移植の注意喚起の動画を作成</p>	

16,000例の調査からわかったこと:「考えはじめる」ことを促進する重要性

5 GD 4 NBHC @ DS
3 DRD@BG \$ DMSO
%NRG@MELDRBK

- 臓器提供について考えている人は約割
- 関心はあるが、考えていない人が多い⇒関心の有無を問うのではなく、**考え始めているかどうか**が重要



瓜生原 (2023)日本移植学で報告

無断複製・複製・転載はご遠慮ください© 2023 Yoko Uryuhara. All rights reserved.

ドナー「表明」迷ってますか?

臓器提供の迷った人への支援として、自治体や都道府県Co.に負担をかけない地域の啓発施策支援のしくみとして**マニュアル作成**

「**臓器提供迷ってますカード**」を開発・実証
大学生334名を対象とした調査において、「迷ってもいい」カードは既存のカードより統計学的有意に記入への抵抗感が減り、家族と話すきっかけになり、意思表示することを忘れないことが示された。

Allによるテラーメードの啓発開発開始
再解析得た因子を基にannotationを行い、その人の志向にあった情報が届くしくみ構築⇒意思決定における対話の重要性から方針転換

「**臓器提供迷ってますカード**」の展開
・学校教育・病院内での啓発、一般市民の啓発に使用・検証
・以下のツールとセットでの有用性が示唆され、メディア(読売新聞)に掲載された。
・この取組みは、ACC賞(PR部門)を受賞。

対話意思決定促進ツールの開発
・中学教育、一般における検証を実施。
・メディア(読売新聞)に掲載された。
・中学校道徳教材「ココロノート」に2025年度より掲載された。

中学校道徳授業の深化
授業中に対話促進ツールを組み入れた授業の実施・検証。家庭での対話。

総合ポータルサイトの構築
市民、施策立案者、教育者別の行動科学を基盤としたサイト。引き続き内容の検証を継続する予定。

★海外渡航移植の注意喚起の動画を作成





中学校の道徳の授業をお考えの先生に

トラコミ
暮らし、伝えよう。幸福実現。

Home 移植啓発に関わる方々へ 会員ページ News More

Yoko Uky...

自治体・施策立案者の方へ

本ページは、各都道府県で移植啓発を行う方のページです。

[ウェブサイト名を入力](#)

[意思決定支援ツール](#)

[会員登録/資料ダウンロード](#)

ウェブサイト(仮)

行動科学に基づく移植立案の方法、今すぐ使える啓発事例については、こちらをご確認ください。

[ウェブサイト](#) [ウェブサイトの詳細確認](#)

https://doushisya.testsite.help/howto/

啓発イベントで期待した効果が得られない真の理由

目的が不明確	対象が不明確	内容がアイデアベース	活動の評価が乏しい
<ul style="list-style-type: none"> ● 知ってほしい? ● 共感してほしい? ● 意思決定してほしい? ● 意思表示してほしい? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 知ってほしい? ● 共感してほしい? ● 意思決定してほしい? ● 意思表示してほしい? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 知ってほしい? ● 共感してほしい? ● 意思決定してほしい? ● 意思表示してほしい? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 知ってほしい? ● 共感してほしい? ● 意思決定してほしい? ● 意思表示してほしい?

科学的根拠にともづく啓発活動(EBE)を行うことで解決

- ① 情報伝達から「行動変容」へ
- ② 行動科学に基づき介入施策を立案する
- ③ 介入施策の効果を回る

ソーシャルマーケティングを適用
この文章はダミーです。ソーシャルマーケティングの説明が入ります。この文章はダミーです。ソーシャルマーケティングの説明が入ります。この文章はダミーです。
ソーシャルマーケティングとは? [?](#)

効果的な企画のための具体的手口

では具体的に企画に必要な要素を、どのように設定するのでしょうか。上記した効果的な企画の流れに合わせて、それぞれどんなことを考える必要があるかを記しています。

効果的な企画をうみだす「5つの要素」と「具体的手口」

